			A	_
(1)	事務事業の	ハタ珠	・位署ベル	
<b>\ I</b> /	尹份尹未♡	ノロが	一仏 但 ノル	LPianij

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務	事業コード	事務事	事業名	業名				当課		担当係名 所属長(課長等)名					担当係長名			
22131		四之伊	<i></i>	<b>₩</b>			保健社	畐祉課		保健指	<b></b> 導係			守屋	英彦		7	原 百合
	.2131					-次評値	五年月日	平成 27 年 6				月	12	日	連絡	先〔内線)	2124	
				会計区分				算コード	事業名(歳出予算見積書)									
事 務	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)		V	一般		特別		0414	町保健対策推進事業									
事業				一般		特別			#N/A									
事務事業実施			章 (コード)			-ド選択)		2章	支え合いとやすらぎのまちづくり									
の 根	第五次総合	合計画前期基本計画の	節(コード		-ド選択)		2節	健康な	建康な暮らしを築く健康づくり・医療体制の充実									
拠	施策体系	こおける位置づけ	項〔	項[基本施策] (		(コード選択)		1項	健康づくりの推進									
位置づ			目(:	目〔主な施策〕 (コード選		ド選択)		3目	母子條	建康管	理のタ	定実						
づけ	関連する記	十画等への位置づけ	V	第五次行財政改革大		<b>文革大綱</b>		3ヶ年実施	計画		主要業務		報告		その	他		
	事務期間			始)	年度		(終了	予定)	年度  ☑		V	開始時期不明			<b>V</b>	終期設定なし		

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために)・・・・・この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

4~5ヶ月、1歳、1歳6ヶ月、2歳、3歳の乳幼児およびその家族

②目的(意図)(どんな状態にしたいか)・・・・・この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

乳幼児の発育発達を確認するとともに、疾病の早期発見・早期治療を推進する。また、保護者が抱く不安や悩みの解消を図る。

③手段(事業内容)(どうやって)・・・・・上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

- ▋該当者に健診の案内通知を行い、健康教育・問診・身体測定・医師及び歯科医師の診察・各種検査を行う。
- 2 保健師による育児相談、管理栄養士による栄養相談、歯科衛生士による歯科相談、心理士による心理相談を行う。
- ■健診未受診者に次回の案内や受診勧奨、児及び家族状況の把握を行う。

## (3) 活動指標の設定と推移・・・・・(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。〔Do1〕

				₩ <i>(</i> +	実糸	責値	計画	面值	最終目標年度				
			区  分	単位	25年度	25年度 26年度		達成率	27	年度 (見込み)			
	1	指標名	健診受診率	%	95	96	96	1.00		96			
		説明	対象者に対する健診実施者の割合	算出方法・計算式・目標 値設定の考え方等	実績値								
I	<b>(2)</b>	指標名								0			
	2	説明		算出方法・計算式・目標 値設定の考え方等									

## (4) 成果指標の設定と推移・・・・・(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。〔Do2〕

			出 <i>八</i>	実終	責値	計画	面值	最終目標年度		
		区分	単位	25年度	26年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
		要観察・要精検・要医療の項目の発見率	%	46	55	57	0.96		57	
1	説明	受診者に対する、各項目ごとの経過観察や医療機関等への受診が必要 なものの割合	算出方法・計算式・目標 値設定の考え方等	実績値						
	指標名	健診未受診者で状況未確認者の割合	%	0	0	0	0.00		0	
2	説明	対象者に対する状況未確認者の割合	算出方法・計算式・目標 値設定の考え方等			見·早期治療 況未確認者?				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]							*	事業	費の算	定方法	去	V	決算	書•予	算書	等に証	記載の数字		按分計算による算定			
																		平成24年度 決 算	平成2! 決	5年度 算	平成26年度 決 算	平成27年度 見込み
〇総	〇総事業費(コスト概算) =①+②											(千円)						5,628	28 5,8		5,862	5,543
	対前年比														104.7	99.5	94.5					
	A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)																					
	B)一般財源(税金)																	5,628		5,893	5,862	5,543
	①事業費															(	千円)					
	対前年比																%		#DI\	//0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	②人件費の概算															(	千円)	5,628		5,893	5,862	5,543
	対前年比																%			104.7	99.5	94.5
		課長補佐								係 長			一般職員			数		年間人件費	年間人	、件費	年間人件費	年間人件費
	H25     H26     H27     H25     H26     H27     H25     H26       町職員(正規職員)     0.00     0.00     0.00     0.01     0.01     0.01     0.01     0.03     0.03							H27	H25	H26	H27	H27 H25 H26		H27								
								0.03	0.03	0.03	0.95	0.95	0.95	0.99	0.99	1.00		5,628		5,893	5,862	5,543
	臨時職員														0		0	0	0			

## (6) 項目別評価〔Check〕 視点 項目別評価 判定 評価結果 A 増加傾向にある 1. 事業に対する町民 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください B 変化していない Α |のニーズに変化はあり ますか C 減少傾向にある D かなり減少している 2. 国・県・民間との役 B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 A 町が主体となる必要がある 割分担から、町が事業 Α を実施する必要があり C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 必要性がない ますか A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合、その具体的な内容をお書きください 3. 対象(受益者)の設 Α 定は妥当ですか B 対象の変更の余地がある A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合、その具体的な内容をお書きください 4.目的(意図)の設定 Α は妥当ですか B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある ── C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください A 期待したとおりの成果があった |5. 期待された成果は B 概ね期待したとおりの成果があった 得られましたか В (成果指標の目標値へ C 期待したほどの成果が得られなかった の達成度) D 成果が少なく今後も向上する見込みがない A すでに実施している A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 6. 連携可能な事務事 業はありますか B 今後は可能性がある (町以外の取り組みも 含めて) C 今後も可能性はない 効 率 C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください A 余地なし 7. 成果を下げずにコス B 当面は余地なし |ト(事業費・人件費)を 削減できますか C 一部余地あり D かなり余地あり C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし 8. 受益者負担は適切 Α ですか C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり ★ A·Bの場合、その具体的な内容をお書きください。 A すでに実施している B 可能 そ 9. 民間企業・住民団 体との協働の可能性は ありますか C 困難 D 検討中 (7) 改革改善 [Action] 今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) 口を一つチェックしてください。 □ ウ. 終期設定 □ エ. 廃止 □ オ. 休止 ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する (ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください) 〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください) a 重点化する(コストを集中的に投入する等) 時期(年度) b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える) c 効率化を図る(コストを下げる) d 縮小する(簡素化する) □ e その他(別事務事業に統合する等) 事業の方向性の具体化 改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。) 27年度予算見積書への反映 口 あり 図 なし 〔反映内容〕 |子どもやその家族のニーズを常に把握し、育児相談や健康教育に取り入れていく。 (8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について) (評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。) 上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック ☑ A. 貢献度 大 □ D. 上位施策なし 子どもや家族への支援は重要な取り組みです。今まで以上に結婚・出産・育児と切れ目のない支援 □ B. 貢献度 中 を行っていく。(1ヶ月健診補助、乳房ケア、産褥入院補助等) C. 貢献度 小

a 上記 a~e を選択

 イ. 見直しのうえで継続する
 □
 ウ. 終期設定
 □

才. 休止

工. 廃止 □

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

ア. 現状維持 🛛